

No. 0013

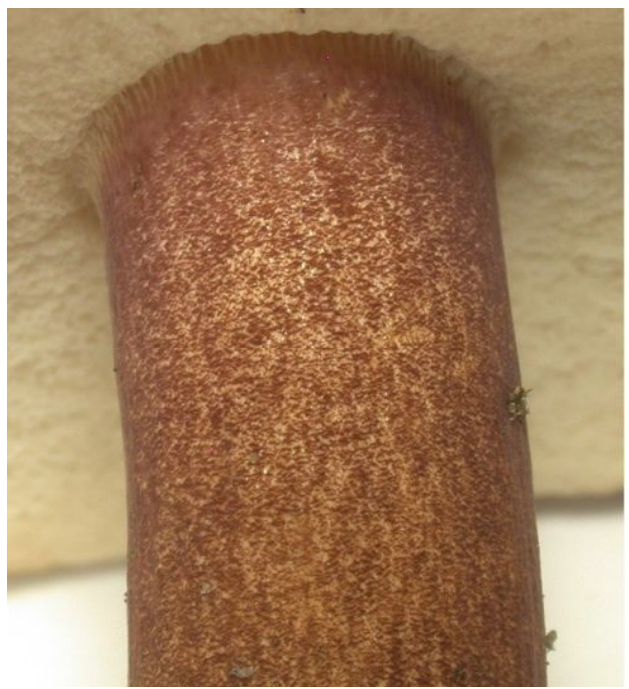
クリイロニガイグチ(=フモトニガイグチ?)

*Tylopilus castanoides* Har. Takah.

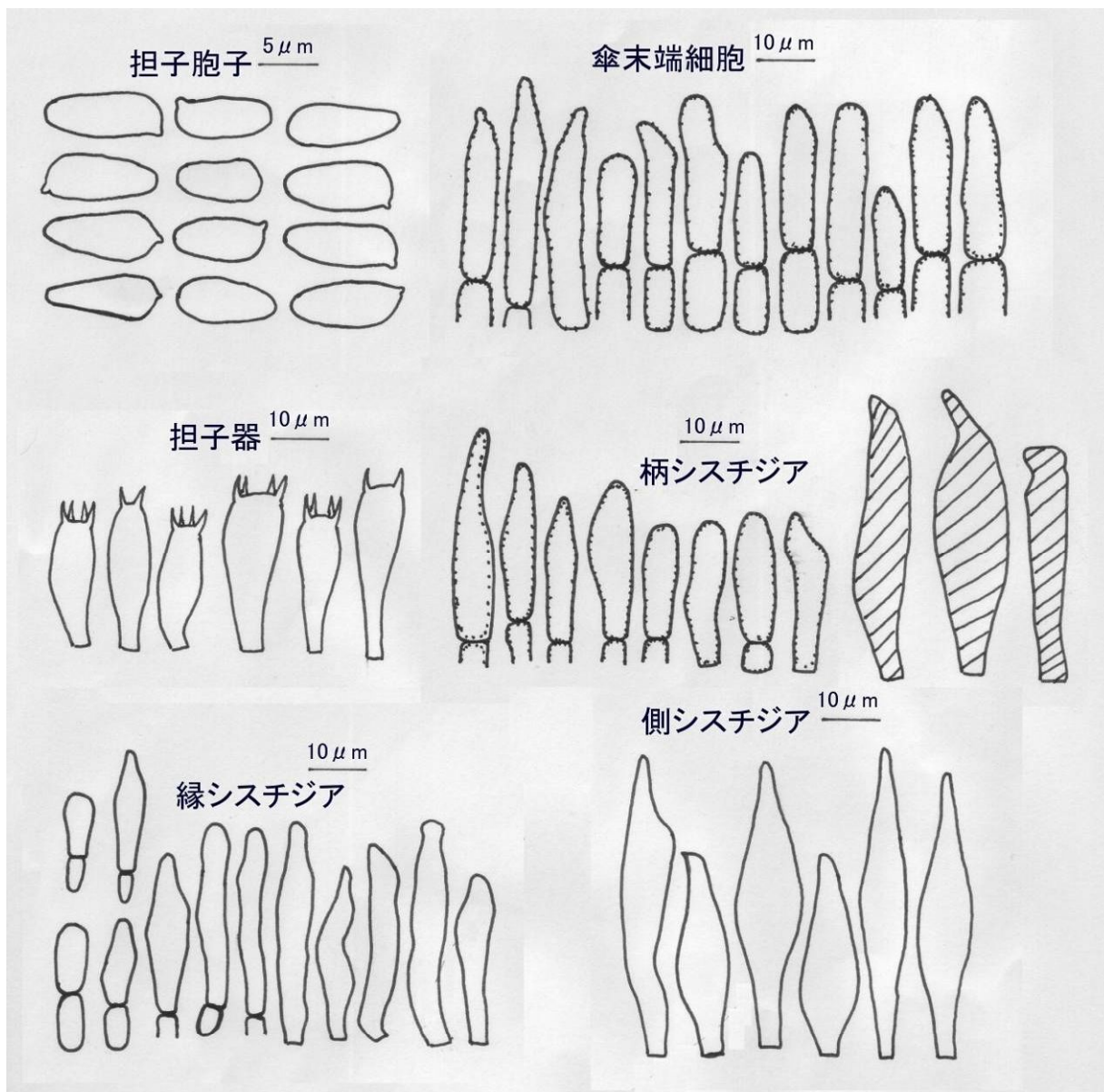
(=*Tylopilus alutaceoumbrinus* Hongo?)











●傘は径 2.5-9.0cm, 半球形～平らな饅頭形～平開, 幼時内側に巻き, 波打つものが多い;表面はビロード状, 湿時弱粘性, 淡栗色～栗褐色, 触ると褐変する。

●肉は厚さ 0.5-1.5cm, 傘・柄ともに白色であるが表面付近では淡赤紫色, 切断するとゆっくりと淡紅色に変色し, 質は丈夫, ニガイグチ属特有の匂いがし, 幼菌ではわりと強い苦味があるが傘が平開したものでは苦味がなくなり, 特に柄では苦味が弱い。

●柄は 6-8×0.8-2.2cm, 上下同径か下部ほど太くなり, 中心性まれに偏心性, 中実;表面は上～中部で細かく裂けたような鱗片状, ときに縦しわがあり, 帯紫栗色, 基部で白色～淡黄土色, 所々に淡黄土色の部分があり, 網目はまれに存在する。

●管孔は直生～離生, 幅 0.2-0.4cm ;孔口は 2-3 個/mm, ほぼ全縁;管孔・孔口ともに白色のち淡紅色, 触るとゆっくりと褐変する。

●孢子紋は淡紅色。

●孢子は長楕円形～長卵形, 大きさ 8.0-11.0×4.0-4.5 μm, Q 比 2-3, 平滑, 偽アミロイド～非アミロイド。

●担子器は棍棒形, 大きさ 21-30×7.5-10 μm。



- 縁シスチジアは棍棒形・やや屈曲する円柱形・紡錘形, 群生し, 大きさ  $12-40 \times 3.5-7.0 \mu\text{m}$ , 無色.
- 側シスチジアは狭紡錘形, 散生し, 大きさ  $35-55 \times 7.5-12 \mu\text{m}$ , 無色.
- 子実層托実質は散開形, 非アミロイド.
- 傘上表皮は毛状被で, 菌糸の太さ  $5.0-8.5 \mu\text{m}$ , 円柱形で先は丸いものもあるが尖るもののほうが多く, 菌糸には茶褐色の色素が凝着する.
- 傘実質は非アミロイド.
- 柄上表皮は平行菌糸被で末端細胞は立ち上がってシスチジア様となる;シスチジア様の菌糸は円柱形・棍棒形・類紡錘形でときに先が細くなり, 大きさ  $23-55 \times 4-13 \mu\text{m}$ , 茶色の色素が凝着し, 上部では大型の褐色のシスチジアが存在する.
- 柄実質は非アミロイド.
- クランプはすべての菌糸において見当たらない.

採集日 2006年7月3日、2007年8月1日

採集場所 神戸市須磨区

採集環境 カシ・コナラ樹下

採集者 幸徳伸也

同定者 幸徳伸也

標本番号 なし